

# 平成 26 年度 研究計画書

## Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア言語文化研究部門 I
氏名 Name	酒井裕美
専門分野 Academic Field	朝鮮史学

### 平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	開港期朝鮮の対日外交政策				
<p>東アジアの国際関係が激動する開港期において、朝鮮外交はこれまで受け身で描かれがちであった。すなわち朝鮮独自の構想や戦略については、十分な研究がなされていない。それは朝鮮が対峙した実際の外交懸案についての具体的な分析が不足しているところに起因する。このような問題意識から、私は主に朝鮮が締結した条約を手がかりに、朝鮮外交を再構成することに取り組んできた。</p> <p>開港期に日朝間で長期の外交交渉が行われた問題に、漁業問題がある。1883 年に「日本漁民取扱規則」、1889 年に「日本朝鮮両国通漁規則」が締結されるが、それぞれの制定交渉過程、制定後の運用実態については、これまで明らかにされていない。釜山開港場に置かれていた朝鮮政府の地方機関である釜山監理署が統理交渉通商事務衙門に上げた報告書（「釜山監理署牒報」（奎章閣整理番号：奎 24228））や、当時日本側で外交の先頭に立っていた花房義質関係文書などの分析を通して、これらを跡づけていく。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	史学一般	日本史	アジア史・アフリカ史	政治学	国際関係論
キーワード Keywords	朝鮮外交	日本漁民取扱規則	日本朝鮮両国通漁規則		